

L24

範囲：漢字学習・L24 (B1~4、C1~2)

漢字学習

- ① 復習 (全体⇒個別)、口頭で文作り
- ② 新しい漢字の学習/漢字カードで読み合わせ
- ③ テキストの「読み方」
- ④ 音訓、語彙、口頭で文作り
- ⑤ 書き方指導 (テキストも合わせて)
- ⑥ テキスト「使い方」
- ⑦ 漢字カードで読み合わせ
- ⑧ カタカナの復習
- ⑨ もし時間があれば、簡単な漢字ゲームなど。

1

漢字

2

新出語

L24

3

B1・B2・C1

～くれました

～がくれました

4

B3・B4・C2

～もらいました

だれに～もらいましたか

○意味の確認

1. くれます

⇒B1の導入で扱う。

2. 直します

レポートを間違えましたから、直します。答えを間違えましたから、直します。綺麗じゃない字を直します。

3. 連れて行きます

子供を学校へ連れて行きます。夫を病院へ連れて行きます。おばあちゃんを店まで連れて行きます（私は店へ行きませんが）。友達は横浜へ行ったことがありますから、友達を横浜へ連れて行きます。

4. 連れて来ます

妹を学校へ連れて来ます。犬を学校へ連れて来ます。先生（医者）こんにちは、おじいさんを連れて来ました。

5. (人を) 送ります

彼女を駅まで送ります。（雨が降っていますから、車で夫を迎えに行きます。迎えますと送ります。）友達が帰りますから、送ります。友達が来ましたから、迎えます。

6. 紹介します

新しい人を紹介します。課長に新しい会社員を紹介します。私の好きなお菓子について紹介します。わたしの趣味を紹介します。（わたしを知って欲しい）

7. 案内します

新しい学生が来ましたから、学校を案内します。初めて日本に来た外国人にすてきなところを案内します。専門学校について案内します。（あなたの役に立ちます）

8. 説明します

すき焼きの作り方について説明します。パソコンの使い方を説明します。どうして、ビザが要りますか。説明しましょうか。

9. おじいさん/おじいちゃん

わたしの父の父。（わたしの母の父）わたしのおじいちゃん、あなたのおじいさん。おじいちゃんと呼ぶときは、家族など。本はおじいさんが多い（?）。知らない人も「おじいさん」と呼ぶことができます。（とても年が上の人）

10. おばあさん/おばあちゃん

わたしの父の母。（わたしの母の母）ドラえもののび太くんは「おばあちゃん」と呼んでいます。わたしは「ばあちゃん」と呼んでいます。

意味の確認をする前に、新出語一覧を音読練習しておく。

一方的な説明にしない。学生に質問しながら一緒に文作り、意味確認をする。

「紹介します」「案内します」「説明します」の区別に学生が困惑した様子の場合、補足説明をしたり、例文を与えたりする。

助詞・使い方の確認では、助詞が抜けた文を言い、学生に助詞を含めた全文を言わせるパターン、文の一部を言い、それを使って文を完成させるパターン、文を作った後に理由を付け加えるパターンなど、文に応じて練習、確認をしていく。

11.準備

明日は誕生日パーティーがありますから、ケーキや飲み物の準備をします。旅行へ行きますから、荷物の準備をします。もうすぐ冬ですから、コートやセーターなど服を準備します。

12.引っ越し

結婚しますから、2人で住むうちへ引っ越し（し）ます。来週、引っ越します。引っ越しの準備が大変です。フランスへ引っ越します。北海道へ引っ越します。

13.お菓子

お菓子は甘くて美味しいです。わたしのおばあちゃんはよくお菓子を作ります。毎日午後3時にお菓子を食べます。友達のうちへお菓子を持って行きます。お菓子とお茶をいただきます。

14.ホームステイ

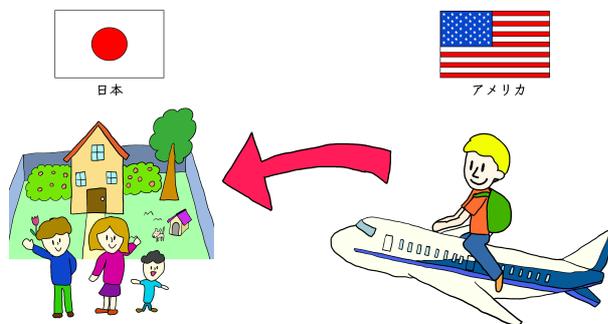
アメリカの大学へ留学します。そして、アメリカ人のうちへ泊まります。日本はあまりホームステイができるうちがありません。ホームステイした家族に手紙を書きます。

15.全部

作った料理を全部食べます。りんごが1000要りますから、スーパーのりんごを全部買います。

16.自分で

この料理は全部自分で作りました。母も姉も作っていません。自分で作りました。その答えだめですよ。直しましょうか。いいえ、自分で直します。「1人で」は、1人で行きます。1人で飲みます。1人で食べます。（手が震えるおじいさんに「あーん」…「いいえ、自分で食べます。」）



○助詞・使い方の確認

1.くれます

⇒B1で扱う。

2.直します

レポートを直します。答えを直します。きれいな字じゃありませんから、直します。
えんぴつで直します。消しゴムで直します。

3.連れて行きます

子供を連れて行きます。駅まで連れて行きます。病院へ連れて行きます。
子供は1人で行くことができませんから、連れて行きます。

4.連れて来ます

田中さんをすぐ連れて来ます。おじいちゃんを病院まで連れて来ました。
犬を公園へ連れて来ました。

5. (人を) 送ります

彼女を送ります。駅まで送ります。うちまで送ります。
夜は危ないですから、友達を車で送ります。

6.紹介します

父に彼を紹介します。わたしの趣味について紹介します。

7.案内します

道を案内します。大阪城を案内します。新しい社員に会社を案内します。

8.説明します

使い方を説明します。漢字の書き方を説明します。母にホームステイにつて説明します。

9.おじいさん/おじいちゃん

おじいさんがいます。おじいちゃんが好きです。
おじいちゃんと一緒に行きます。おじいさんは山へ木を切りに行きます。

10.おばあさん/おばあちゃん

おばあさんは川で洗濯をします。おばあさんにセーターをもらいました。
おばあちゃんは親切です。おばあちゃんは早く起きます。

11.準備

パーティーの準備をします。引っ越しの準備は大変です。
旅行へ行きますから、荷物の準備をします。

12.引っ越し

結婚しますから、引っ越します。大阪へ引っ越します。
引っ越した友達から電話をもらいました。

13.お菓子

お菓子を食べます。晩ご飯を食べる前に、お菓子を食べないでください。
お菓子を作ります。作ったお菓子は美味しいです。

14.ホームステイ

アメリカへホームステイに行きます。ホームステイでイギリス人の家族と毎晩食事します。

15.全部

料理を全部食べました。要らないものを全部捨てました。昨日覚えた漢字を全部忘れしました。

16.自分で

全部自分で作りました。手伝わないでください。自分でできますから。自分でかいた絵を彼女にプレゼントします。

○あげます・もらいますの復習

・プレゼントの見本1（イラスト・あれば実物）を用意する。

T：ニュンさんにチョコレートあげます。

S：先生にチョコレートもらいました。安さんにチョコレートあげます。

S：ニュンさんにチョコレートもらいました。姜さんにチョコレートあげます。

S：姜さんにチョコレートもらいました。マヤさんにチョコレートあげます。

・何人かに上記のように席順に見本をしてもらったら、3グループ（席順）に分かれ、「あげます」「もらいました」リレーで対決する。（品は同じ文字数のものにする。…時計、帽子、りんご）

B1 「～をくれました」

・プレゼントの見本2（イラスト・あれば実物）を用意する。

T：今月誕生日の人はいますか。

S：はい！

T：じゃあ、ハインさんにみんなで誕生日プレゼントあげましょう！

・5人の学生がプレゼントをハインさんへ渡す。

T：ハインさん。たくさんプレゼントもらいましたね。よかったですね。

S：よかったです。

T：だれにもらいましたか。

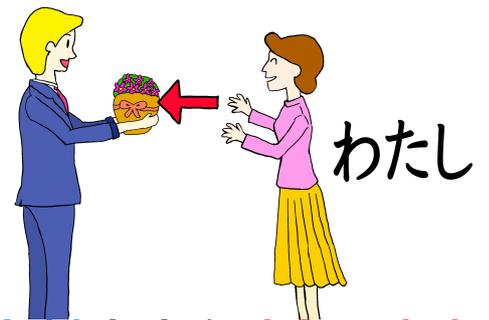
S：林さんと徐さんと孫さんとフォンさんとシリルさんです。

T：いいですね。じゃ、林さんは・・・何を・・・？

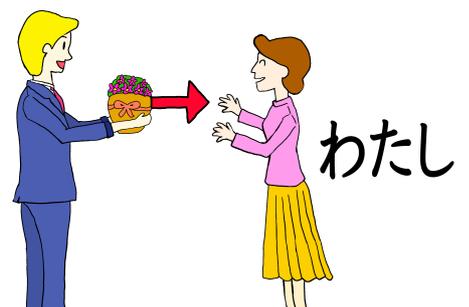
S：林さんは花を・・・あげました・もらいました？

S：くれました！（物知りの学生に期待）

わたしはかれにあげます



わたしはかれにもらいます



板書（学生と確認しながら文作り・音読）

林さんはわたしに花をくれました。

徐さんは（わたしに）ケーキをくれました。

○**図を見て、もう一度「あげます・もらいます・くれます」の関係を把握する。**

・図を提示する。(学生に考えさせ、一文ずつ答えを導いた後、全員で一読する)

S: わたしは山田さんに花をあげます。

S: わたしは山田さんに花をもらいます。

S: 山田さんはわたしに花をくれます。

○**「あげます・くれました」リレー**

・最初に行った「あげます・もらいました」リレーを「あげます・くれました」にして練習する。

・まず一周全員が言えているか確認し、時間を見てゲームを取り入れるか否か判断する。

○**「あげます・もらいました・くれました」**

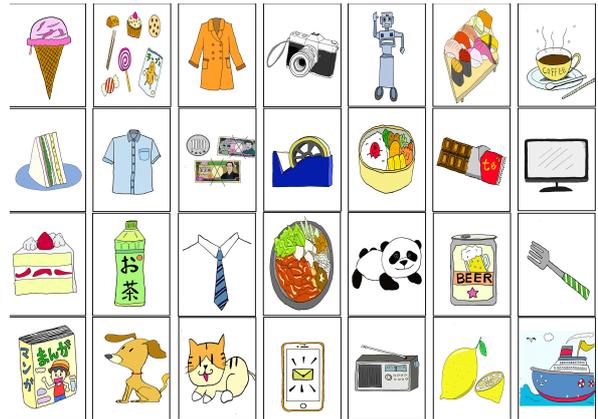
・2人ペアを前に出す。

S: (わたしは) ミカエルさんに花をあげます。

S: (わたしは) 金さんに花をもらいました。

S: 金さんは花をくれました。

・同様に色々な物で何組か発表していく。



○**「お祝いをしよう」**

・1人3枚イラストを引く(イラストにはクラスの友達の名前が書かれている)

・全員が引き終わったら、名前が書かれている学生の元へプレゼントを渡しに行く(なるべく短時間かつ丁寧に)

・3枚から1枚、好きなものを選んで、もらったプレゼントを発表する。(定型文などを黒板に示す)

S: トゥアンさんはよく働くロボットをくれました。

S: 林さんはきれいなスーツをくれました。

S: 陳さんは便利な製品をくれました。

・・・。

○**「丸ばつ」クイズ(疑問が残るところは補足説明する)**

T: わたしは山田さんに靴をあげます。(○)

T: わたしはかばんをもらいました。(○)

T: わたしは花をくれました。(x)

T: 山田さんはわたしに花をあげました。(x)

T: 山田さんにチョコレートをくれました。(x)

T: 山田さんは田中さんにチョコレートをくれました。(x)

○**テキストB1の問題(音読・時間があればノートに2問書く)**

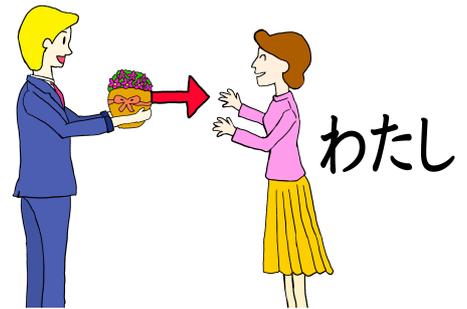
S: マリアさんは帽子をくれました。

S: イーさんは辞書をくれました。

S: シュミットさんはサッカーのチケットをくれました。

S: ミラーさんは花をくれました。

かれはわたしにくれます



B2 「～がくれました」

・イラストを提示する。

T: 「わたし」は誕生日にたくさんのプレゼントをもらいました。これは？

S: 花です。

T: 花は？（チケットをくれた人の顔をさし、くれたのジャスチャーを付ける）

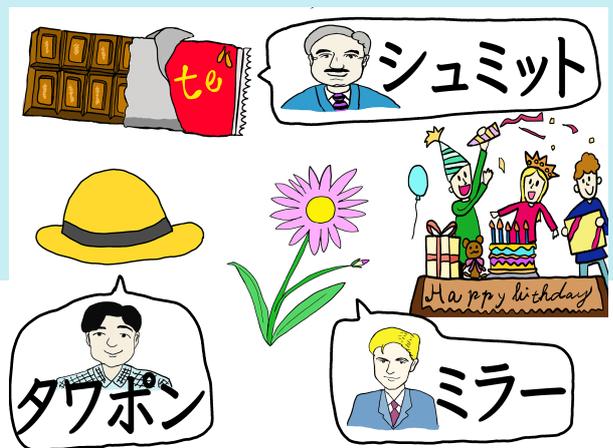
S: 花はミラーさん... くれました。

S: 花はミラーさんがくれました！（物知りの学生に期待）

T: これは？

S: 帽子

S: 帽子はタワポンさんがくれました。



板書（学生と確認しながら文作り・音読）

花はミラーさんがくれました。

帽子はタワポンさんがくれました。

○イラストの続きで、練習をする。

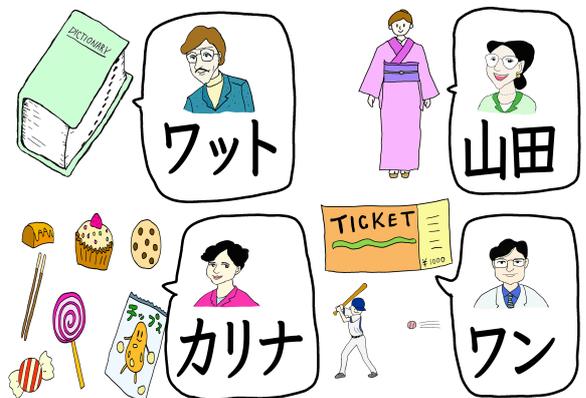
S: チョコレートはシュミットさんがくれました。

S: 辞書はワットさんがくれました。

S: 着物には山田さんがくれました。

S: お菓子はカリナさんがくれました。

S: 野球のチケットはワンさんがくれました。



○自分の持ち物（なるべくもらった物）を一つ用意してペア練習をする。

T: トゥアンさんの時計！素敵な時計ですね。

S: ありがとうございます。

T: 時計は誰が？

S: 時計は父がくれました。

T: そうですか。いいですね。

・会話の流れを黒板に板書し、ペア練習にする。

○テキストB2の問題/C1の会話練習

板書 () は、各自変えて行う。

A: (すてきな) (時計) ですね。

B: ええ。(父) がくれました。

B2 「～を～てもらいました」

T：日本でどこか行きましたか。

S：はい！京都へ行きました。

T：いいですね、安さん。みなさん、京都の写真を見たいですね...？アンドレアさん、写真をみたいですか。

S：はい、見たいです。

- ・安さんはアンドレアさんなど近くの人に写真を見せる。（ケータイはさっと渡す）
- ・安さんが写真を探している際があったら、他の学生にも旅行の思い出を語らせる。

T：いい写真でしたね。安さんは写真を見せましたね。じゃあ、アンドレさん、わたしは安さんに？

S：わたしは安さんに写真を...？

S：写真を見せてもらいました。（物知りな学生に期待）

T：安さんの写真がほしい人？

S：はい！

T：じゃあ、みんなのケータイに写真を送ってください。あとで。

S：えー・・・

T：安さんは、みんなに写真を送ります。じゃあ、ゴックさん、わたしは安さんに？

S：わたしは安さんに写真を...？

S：写真を送ってもらいます。

T：あ！安さんのメールを知っていますか。

S：知りません。

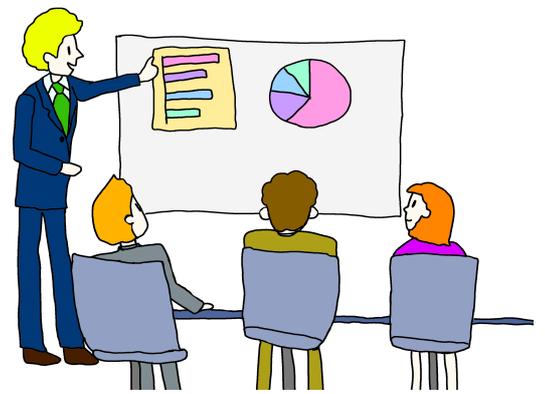
T：安さんはみんなにメールを教えます。あとで。フオンさん、わたしは安さんに？

S：わたしは安さんにメールを教えてもらいます。

- ・「写真を見せます。」は「先生に宿題を見せます。」の見せます。
- ・「写真を見せてもらいました。」は親切。相手から発信の場合、私の願いを叶えてくれて場合などがある。（「親切」をキーワードに）

板書（学生と確認しながら文作り・音読）

わたしは安さんに写真を見せてもらいました。
わたしは安さんに写真を送ってもらいます。
わたしは安さんにメールを教えます。



○動詞の変形練習で口慣らし（見せます⇒見せてもらいました）

・見せます 貸します 書きます 教えます 作ります 手伝います 案内します 紹介します 説明します
手伝います 連れて行きます 直します 送ります 変えます 調べます 修理します 運転します とります

○言葉をつなげて「～てもらいました」の文作りをする（言葉はランダムに与え、結びつけさせる。動詞はます形の提示）

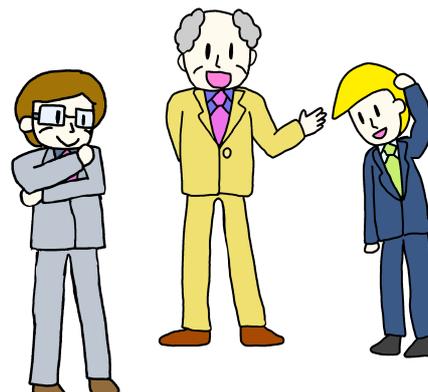
S：田中さんに地図を書いてもらいました。
S：鈴木さんに住所を教えてもらいました。
S：中村さんにはさみを貸してもらいました。
S：山田さんに京都を案内してもらいました。
S：伊藤さんに引越しを手伝ってもらいました。
S：上田さんにレポートを直してもらいました。
S：おばあちゃんにお菓子を作ってもらいました。
S：店の人にサイズを変えてもらいました。
S：兄に自転車を修理してもらいました。

○テキストB3の問題(音読・時間があればノートに2問書かせる)

S：わたしはワンさんに写真を見せてもらいました。
S：わたしはタワポンさんに田中さんを紹介してもらいました。
S：わたしはワットさんに地図を書いてもらいました。
S：わたしはカリナさんに電話番号を教えてもらいました。

○ペアを前に出しお題に沿って会話を作らせる（最終的には「～に～てもらいました」の発表。お題はペアだけ見ることが出来る） /C2

S：張さんにケーキを作ってもらいました。（最終発表）
S：マヤさんに引越しを手伝ってもらいました。（最終発表）
S：トゥイさんに駅まで連れて行ってもらいました。（最終発表）
…。 （時間を見ながらお題の数は調整する）



B4 「だれに～を～てもらいましたか/～に～てもらいました」

・サイン入りの色紙的なものを用意する。

T: これ! どうですか。

S: いいですね。

T: (サインを/名前を) 書いてもらいました。有名な人です。

S: ジョニーデップ? ブラッドリー・クーパー? トム・クルーズ? だれ?

S: だれに (サインを/名前を) 書いてもらいましたか。

T: 清水先生に書いてもらいました。



板書 (学生と確認しながら文作り・音読)

だれに名前を書いてもらいましたか。

...清水先生に書いてもらいました。

○イラスト (名前入り) を見ながら応答練習をする (文の内容は学生の想像で進める)

S: だれに傘を貸してもらいましたか。

S: 田中さんに貸してもらいました。

S: だれにすき焼きを作ってもらいましたか。

S: 山田さんに作ってもらいました。

S: だれに新しい社員を紹介してもらいましたか。

S: 中山さんに紹介してもらいました。

S: だれに大阪を案内してもらいましたか。

S: 上田さんに案内してもらいました。

S: だれにパソコンを修理してもらいましたか。

S: 兄に修理してもらいました。

S: だれに引越しを手伝ってもらいましたか。

S: 友達に手伝ってもらいました。

S: だれに写真を撮ってもらいましたか。

S: 知らない人に撮ってもらいました。

○テキストB4の問題(音読・時間があればノートに2問書かせる)

S: だれに日本語を教えてもらいましたか。…小林先生に教えてもらいました。

S: だれに本を貸してもらいましたか。…佐藤さんに貸してもらいました。

S: だれに料理を手伝ってもらいましたか。…山田さんに手伝ってもらいました。

S: だれに京都を案内してもらいましたか。…木村さんに案内してもらいました。